



WebFOCUS メンテナンスリリースの適用

Version 8.2.07.28.11

本手順書では、すでに導入済みの WebFOCUS Version8.2.07 に対してメンテナンスリリース 8.2.07.28.11 を適用するために必要な手順と注意点を記載しています。トピックを参照のうえ、必要な作業を行ってください。

トピック

- メンテナンスリリースの入手方法について
- メンテナンスリリース 8.2.07.28.11 の内容と適用手順について
- メンテナンスリリース 8.2.07.28.11 の適用手順について
- メンテナンスリリース 8.2.07.28.11 で修正された問題
- メンテナンスリリース 8.2.07.28.11 で新規に発生する問題

メンテナンスリリースの入手方法について

WebFOCUS メンテナンスリリース 8.2.07.28.11 のモジュールは、以下の FTP サイト URL 、または WebFOCUS Knowledge base サイトからダウンロードしていただくことができます。

FTP サイト URL

ftp://ftp.ashisuto.co.jp/pub/ibi/Patch/WebFOCUS/8207_28_11

上記 FTP サイト URL にアクセスし、適用する製品に応じてモジュール（zip 形式の圧縮ファイル）をダウンロードしてください。zip ファイルにはパスワードが設定されています。ダウンロード後、以下のパスワードで解凍してご使用ください。

適用対象	ディレクトリ名	ファイル名	パスワード
Windows 版 WebFOCUS	Windows	wf82072811win.zip	wf202207
Linux 版 WebFOCUS	Linux	wf82072811lnx.zip	wf202207
App Studio	App Studio	wf82072811app.zip	wf202207

WebFOCUS Knowledge base サイト URL

<https://wfp.ashisuto.co.jp/service/>

モジュールをダウンロードするためには、WebFOCUS Knowledge base へのアカウント登録が必要です。アカウントをお持ちでない場合は、上記 URL 上に表示される「WebFOCUS Knowledge base とは？」のリンクからアカウントの申し込みを行ってください。

メンテナンスリリース 8.2.07.28.11 の内容と事前準備について

メンテナンスリリース 8.2.07.28.11 は、以下のモジュールごとに分かれて提供されています。

- Windows 版インストーラ Ver.8.2.07.28.11
- Linux 版インストーラ Ver.8.2.07.28.11
- App Studio インストーラ Ver.8.2.07.28.11

WebFOCUS Knowledge Base サイトからダウンロードした各モジュールファイルを解凍してご使用ください。

メンテナンスリリース 8.2.07.28.11 の適用手順について

メンテナンスリリース 8.2.07.28.11 の適用手順は、各プラットフォーム（Windows または Linux）のモジュールファイル、Readme フォルダに含まれるインストール手順書に記載されている以下の章をご参照ください。

- 2 章：更新インストール手順
 - 「[WebFOCUS Reporting Server の更新インストール](#)」
 - 「[WebFOCUS Client の更新インストール](#)」
 - 「[既存コンテンツのインデックス化](#)」
- 3 章：新規/更新インストール共通手順
 - 「[オンラインヘルプの構成](#)」
 - 「[Resource Analyzer 日本語パッチの適用と構成](#)」
 - 「[WebFOCUS App Studio の新規インストール](#)」
 - 「[設定ファイル \(edaserve.cfg\) の編集](#)」
 - 「[ReportCaster のレジストリパラメータ設定](#)」

WebFOCUS リリースノートについて

『WebFOCUS リリースノート Version8.2.07.28.11』には、利用される環境によって必要な設定および注意点が記載されています。WebFOCUS をご利用の前に必ずご一読ください。

リリースノートは、アシスト WEB サポート（AWSC）からダウンロードしていただくことができます。

メンテナンスリリース 8.2.07.28.11 で修正された問題

メンテナンスリリース 8.2.07.28.11 では、以下の問題が修正されました。

管理番号	コンポーネント	内容
WFTEST-5069	Reporting Server	NULL が返される Oracle パッケージを実行し、結果を HOLD すると 300～500 回に 1 度エージェントクラッシュが発生します。
WFTEST-5011	App Studio	HTML に配置したグループボックスが Edge、Chrome ブラウザでは正常に表示されません
WFTEST-5009	Designer	Designer ページでリセットボタンが正常に動作しない
WFTEST-4922	InfoAssist	2 つの HOLD ファイルを相互に JOIN 後、HOLD ファイルを編集時 [クエリ] のレポートを右クリックして"編集"を行うと InfoAssist が動かなくなります。
WFTEST-4917	App Studio	コントロールの連鎖先のデータが更新されなくなる場合があります。
WFTEST-4912	Reporting Server	8008 から 8207.27 へのバージョンアップ後に COMPUTE の演算式に LAST 関数で COMPUTE 項目名を含む特定のリクエストを実行すると、エージェントクラッシュが発生します。

WFTEST-4887	App Studio	サイトプロファイルに「-SET &ECHO=ALL;」が設定されている場合に、AppStudio から SQL レポートおよび SQL グラフを作成しようとした際に、アダプター選択画面で「System Setting」以外を選択できません。
WFTEST-4878	App Studio	動的リストをプロシジャで作成かつ連鎖を設定している場合に、プロシジャ側にデフォルト値もしくは HTML 側で連鎖元の変数をバインディングしていないと動的リストが表示されません。
WFTEST-4763	Reporting Server	プロシジャが次の条件（①シノニムと HOLD ファイルを JOIN、② DB_INFFILE を使用）を満たす場合、エージェントクラッシュが発生する場合があります。
WFTEST-4735	App Studio	HTML キャンバスでダブルリストコントロールを配置し、[ポップアップスタイル] と [実行用 'ページ/検索' の追加] 機能を有効にした場合、HTML 実行時、[設定の表示]ボタンをクリックして「すべてリセット」ボタンを押すと、右リストボックスが検索コントロールと重なって表示されてしまいます。
WFTEST-4703	InfoAssist	InfoAssist でテーブルを JOIN し、HOLD ファイルを作成する際、JOIN に使用中テーブルと同名の HOLD ファイルを作成しようとすると、InfoAssist がハングアップし操作できなくなります。
WFTEST-4702	In-Document Analytics	Analytic Document のレガシースタイル（SET ARVERSION=1）の場合、[ALLOW-PIVOT=OFF]が設定されるレポートを実行すると、レポートが表示されません。
WFTEST-4527	App Studio	HTML キャンバスでダブルリストコントロールを使用し、[ポップアップスタイル] と [実行用 'ページ/検索' の追加] 機能を使用して実行すると、ダブルリストコントロールの表示が狭くなり、検索コントロールが表示されません。
WFTEST-4280	InfoAssist	InfoAssist でテーブルを JOIN、HOLD 後、子テーブルと同名の HOLD ファイルを作成した場合、HOLD ファイルの中身ではなく、子テーブルの内容が画面に表示されます。
WFTEST-4279	InfoAssist	InfoAssist でテーブルを JOIN、HOLD 後、親テーブルと同名の HOLD ファイルを作成した場合、HOLD ファイルの中身ではなく、親テーブルの内容が画面に表示されます。
WFTEST-4278	InfoAssist	InfoAssist で基データソースと同名の HOLD ファイルを作成した場合、HOLD ファイルの中身ではなく、基データソースの内容が画面に表示されます。

WFTEST-4244	InfoAssist	InfoAssist でレポートを作成する時、フィルタで日付の条件設定「月の終了」などを選択すると、引数のタイプが無効です。とエラーが発生します。
WFTEST-3283	App Studio	ダブルリストコントロールで、「ポップアップスタイル」と「実行用'ページ/検索'の追加」機能を併用すると、実行時の表示がくずれて[すべてリセット]ボタンや[設定の表示]ボタンが有効にならない場合があります
WFTEST-2571	Resource Analyzer	Resource Analyzer でバルクロードが有効になっている場合、Vertica をリポジトリとして構成できません。

メンテナンスリリース 8.2.07.28.11 で新規に発生する問題 および注意点

メンテナンスリリース 8.2.07.28.11 では、以下の問題が新規に発生することが報告されています。

管理番号	コンポーネント	内容	対応方法
WFTEST-5080	App Studio	ダブルリストコントロールのページ/検索コントロールの 1 ページの表示件数が、作成時にプロパティパネルを一度も開かなかった場合と開いた場合とで異なります。	開いて変更せず閉じた場合は、「1-50」で表示されます。一度も開かない場合は「1-100」で表示されます。 表示件数を合わせる場合は、プロパティで明示的に件数を指定ください。
WFTEST-5079	App Studio	ダブルリストコントロールのプロパティパネルで「選択値の保持」を「はい」にしても、実行画面の「設定の表示」に反映されません。	実行画面で「選択値を保持」にチェックを入れ、有効にしてください。
WFTEST-5045	App Studio	ダブルリストコントロールの [<] (削除) クリックで、全値が選択解除されます。 ([<<] (全て削除) と同じ動作になる)	値を再度選択しなおしてください。
WFTEST-4939	App Studio	連鎖コントロールを作成し、埋め込み Javascript を使用し	現在メーカー修正依頼中です。

		てテキストボックスからも連鎖している場合、入力値が反映されません	
WFTEST-4929	InfoAssist	HOLD ファイルを使用中マスタと同名で保存する場合は、保存先アプリケーションフォルダを指定する必要があります。また、一部のフォーマット (*.sql など) の HOLD ファイルは、同名でなくても保存先フォルダの指定が必要です。	本動作は仕様変更動作です。
WFTEST-4901	ReportCaster	スケジュールで Email 配信されたレイアウト（ドキュメント）を表示するとブラウザのタブに表示されるレポート名が文字化けします。	現在メーカー修正依頼中です。
WFTEST-4108	Resource Analyzer	リレーショナルアダプタのテーブルのモニタ設定で、実行プロシジャ中の SQL に引用符付きのテーブル名やオーナー名無しのテーブル名が指定されていると、ロギングされません。	RMUCTLFE プロシジャにより手動でモニタ用のテーブル登録を行うことで対応することができます。
WFTEST-1135	管理コンソール	ログインの最大試行回数以上にパスワードを間違えた際に表示されるユーザアカウントがロックされたメッセージの表示タイミングがバージョン間で異なります。	バージョンにより以下の動作の違いがあります。 8.1：ログインの最大試行回数以上にパスワードを間違えたタイミング 8.2：ログインの最大試行回数パスワードを間違えた後、[ログイン]をクリックしたタイミング 8.2.07.28.11 以降、9.0.1 以降：ログインの最大試行回数でパスワ

			ードを間違えたタイミング
--	--	--	--------------

WebFOCUS Version8.2.07.28.11 ご使用にあたっての非互換、不具合の詳細な情報は、アシスト WEB サポート（AWSC）に登録された最新の「不具合・非互換一覧」をご確認ください。

<https://support.ashisuto.co.jp/awsc/outside/productlink#focus1>

以上